

兵庫県 の り 漁場環境情報 (西播海域 6 号)

2025年12月 2日発行
兵庫のり研究所

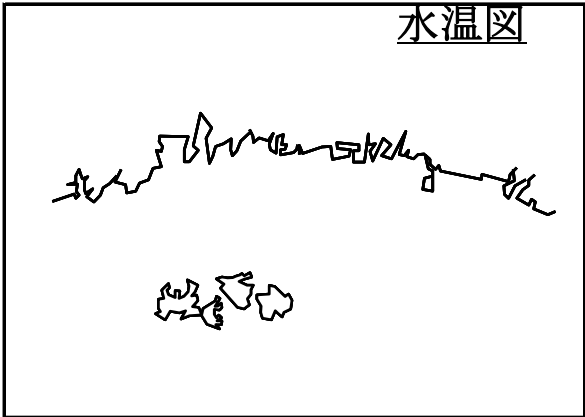
海域全般に、大型珪藻コシノディスカスは確認されますが、発生量は前回(11/21)よりも、さらに減少しており少ない状況となっています。また、西播地先では前回同様小型珪藻のキートセロスが確認され、赤穂漁場では依然多い状況です。そのため窒素は、赤穂漁場で1 $\mu\text{g at/L}$ 以下、その他の地先漁場で1～7 $\mu\text{g at/L}$ 台、沖合漁場で2 $\mu\text{g at/L}$ 前後の値となっており、前回よりもやや上昇しています。

(珪藻)

各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、西播地先で10～60細胞（前回値：100～900細胞）、沖合漁場で10～100細胞（前回値：30～300細胞）であった。また西播地先では小型珪藻のキートセロスが確認され、発生量は海水1mlあたり、赤穂漁場で1,300細胞前後(前回値：1,000細胞前後)その他で15～40細胞(前回値：20～30細胞)であった。

沖合漁場では、小型珪藻は、ほとんど確認されなかった。

水温図



		前回値	今回値	平年値	昨年値
西播地先	窒素	1.4	3.4	5.5	2.2
	リン	0.40	0.46	0.65	0.51
家島・坊勢	窒素	1.7	2.0	4.6	3.4
	リン	0.50	0.54	0.68	0.67

(11/21)

(12/2)

栄養塩（窒素） 図

2025年12月 2日調査

